

令和 7 年度射水市民病院運営協議会

議事録（要旨）

日 時：令和 7 年 1 0 月 1 4 日（火） 午後 3 時 0 0 分から午後 4 時 0 0 分まで

場 所：射水市民病院 診療棟 3 階会議室

出席者：宮田委員（会長）、道谷委員（副会長）、西森委員、森本委員、山崎委員、新谷委員、
鷺本委員、澤委員

当 局：深原院長、柏嶋看護部長、渡邊事務局長、山口事務局次長（兼医事課長）、堀川財政課長、
倉町経営管理課長、鷺塚経営管理課長補佐、福井管財情報係長、泉主任

議 事：（１）令和 6 年度射水市病院事業決算状況等について（資料 1）
（２）経営強化プランに係る数値目標の達成状況について（資料 2）
（３）今後の経営改善の取組について（資料 3）

質疑応答

「資料 1 令和 6 年度射水市病院事業決算状況等について」

委員 延入院患者数が増加した一方で、延外来患者数が減少したことについて、特徴的な要因を聞きたい。

当局 入院患者数の増加については、昨年度から手術件数が増加しており、これは富山大学附属病院からの紹介によるものが主な要因と考えている。

外来患者数については、コロナ以降、右肩下がりとなっている。昨年度では、内科医が 1 名減少していることや皮膚科の診療日が 3 日から 2 日になったことが影響しているのではないかと考えている。

「資料 2 経営強化プランに係る数値目標の達成状況について」

委員 外来患者の単価の根拠を聞きたい。

当局 令和 6 年度の外来患者の単価の根拠については、令和 4 年度の実績値を踏まえ、計画値を定めた。

委員 令和 6 年度の診療報酬改定を考慮した場合、単価が上昇した根拠は何か。

当局 計画を定める段階では診療報酬改定の細部まで分からなかったため、計画値として定めた。

委員 改定では、生活習慣病管理料の月 2 回までとれていたものがとれなくなった。次の改定では、さらに厳しくなるかもしれない、外来の単価は上がっていかない。単価が下がる分だけ、数をこなさなくてはならないということを伝えなくてはならない。

入院の単価についても、急性期や回復期ごとに、病院の性質ごとに考えなくてはならない。

当局 計画自体は令和 4 年度から作成を始めており、改定内容が全てわからなかったところもあるが、今後も検証を続けていきたい。

委員 赤字になると何が起こるかという、給料が下がる。基本給は、下がらないにしても手当に影響が出るものであるが、市民病院は給料が上がっている状態についてどう考えているか。

当局 市民病院の職員は地方公務員ということもあり、人事院勧告に基づき、条例を改正して給料が支払われる。そのため、言われるとおり、赤字の状態にも関わらず、給料が上がっている。

今年度についても、給料があがることを見込まれ、経営上大変厳しい状況になることを、職員に周知し、状況について、認識をもってもらう。

委員 計画について、令和6年度実績を踏まえ、見直しといった観点はあるか。

当局 計画はガイドラインに基づき、計画期間内の黒字を目指して作成したもの。4年間の計画のため、2年間の実績を踏まえ、見直しを検討してまいりたい。

「資料3 今後の経営改善の取組について」

委員 長期課題の人口減少は大変な課題だと思う。人口減少は既に始まっており、行政と連携し、対応していかななくてはならない。

委員 手術手当について、何件ぐらいなのかお聞きしたい。

当局 手術手当について、今年度から9,000点以上のものを対象とし、インセンティブとして開始している。今年度4月から8月までの件数は423件に対し、昨年度4月から8月までの件数は334件であり、件数では89件、27パーセントの増加となっている。

県内の公立病院では珍しい取組であり、医師が来やすい環境になることや医師が患者を集めてくることを期待している。

委員 来月15日に開催予定のふれあい健康フェスタに来たいと思っている。また、医師の方々も出前講座に積極的に来ていただいていると聞いており、大変かもしれないが、病院のイメージがよくなると思う。患者の満足度調査について、どのように行っているのかお聞きしたい。

当局 入院患者を対象として入院患者満足度調査と1ヶ月、期間を設けて行う外来患者満足度調査を行っている。

委員 院長が就任されて1年経過し、感想を一言いただきたい。

当局 皆様の忌憚のない意見をいただき、開かれた病院を目指すとともに経営改善について考えていけたらと思う。